



第447号  
 2024年8・9月  
 〒461-0004  
 名古屋市東区葵2丁目6-35  
 カトリック名古屋教区広報部  
 電話 (052) 935-2223  
 FAX (052) 935-2254  
 news@nagoya.catholic.jp  
 印刷所 株式会社 荒川印刷  
 毎月第1日曜日発行

AGIFTを告げに出ていこう！  
 次世代に信仰を  
 いかにつなぐか？  
 「隔ての壁」を壊し「新しい人」になろう

教区ホームページ

### 福音のひびき

8月の説教者	
4日	年間第18主日 岩崎 一二三 (布池教会)
11日	年間第19主日 オディロン・金一 (北陸ブロック富山地区)
18日	年間第20主日 山野 聖嗣 (港教会)
25日	年間第21主日 寺尾 總一郎 (膳棚教会)
9月の説教者	
1日	年間第22主日 荒田 啓示 (神言修道会)
8日	年間第23主日 片岡 義博 (北陸ブロック石川地区)
15日	年間第24主日 志村 武 (日比野教会)
22日	年間第25主日 真野 和夫 (名古屋教区)
29日	年間第26主日 窪口 松雄 (北陸ブロック石川地区)

今年も特に平和を祈り、行動を促す8月を迎えました。「無関心はいのちを奪います」という表題は、今年の平和旬間にあたって出された、司教協議会会長の菊地功大司教の談話のタイトルです。その中に次のように書かれた部分があります。

「世界中でのちに對する暴力が横行しているにもかかわらず、無関心のグローバル化は激しさを増し、すべてはスクリーンの先にある『人ごと』のように取り扱われています。教皇が指摘されるように、人工知能の出現によって、その『人ごと』感が強まっています。いのちを奪われて

## 2024年カトリック平和旬間司教メッセージ

# 「無関心はいのちを奪います」

教区司教 松浦悟郎

いるのはわたしたちの兄弟姉妹です。暴力にさらされているのは、神の賜物であるいのちです。そしてその暴力を生み出しているのは人間であり、それを助長しているのは、わたしたちの無関心です。」

無関心というのは、単に「世界でいかに横行しているにもかかわらず、無関心のグローバル化は激しさを増し、すべてはスクリーンの先にある『人ごと』のように取り扱われています。教皇が指摘されるように、人工知能の出現によって、その『人ごと』感が強まっています。いのちを奪われて

「クオ・バディス」という物語があります。ペトロがローマから迫害を逃れていくときに、反対の方向に行くイエスにすれ違います。ペトロが、「主よ、あなたはどこに行くのですか」と言うとイエスは、「あなたが兄弟を見捨てるなら、私はローマに行く十字架にかかろう」と言

います。ペトロは、思い直してイエスの道を歩み始めるという内容です。社会全体が「無関心」になりつつある流れに対して、「逆らいのしるし」として苦しむ人々にかけるキリストに従って、私たちも平和の道を歩む決心を新たにしましょう。

「誰ひとり、置き去りにしないように、声なき声を聴き、ともに歩みながら」

能登半島地震被災地支援における名古屋教区の基本方針

はじめに  
 2024年1月1日、多くの人が新年の団らんのうちに過ごしているとき、能登半島に大地震が発生しました。突然の地震で多くの方が亡くなり、また、一瞬のうちに愛する人を失い、生活の場と将来への見通しを失った方々の苦しみは計り知れません。同じく、能登半島にある教会やカトリック幼稚園に関わる方々も大きな被害を受けました。被災されたすべての方々のために心からお祈りいたします。

支援の基本方針  
 能登半島地震被災者の声に応えながら、「誰ひとり、置き去りにしないように」という心をもって関わります。そのため「声なき声」を聴こうとする姿勢を大切にします。

「誰ひとり、置き去りにしないように、声なき声を聴き、ともに歩みながら」

カトリック名古屋教区司教 松浦悟郎

能登半島地震被災地視察報告

去る6月29日、「カトリック」とサポートセンター」のスタッフの方に案内していただき、計6名で被災地視察に参加した。

能登半島地震被災地視察報告



被災地の様子、重蔵神社の震災発生から半年、能登の震災について、メディアで取り上げられることは激減した。ライブライン復旧も進んでいないことから、ほぼ日常生活が取り戻せたとはいえない。しかし、現地に赴き、焼け溶けた車、倒壊した建物、瓦礫の山、ひび割れ波

ぶたための荷積みの手伝いを行った。輪島教会の聖堂では、祭壇が倒壊していたり、降誕節の飾りがそのまま残っていたりしたのが印象的であった。また、輪島市街も片岡神父に案内してもらい、朝市や隆起した海岸を見て回った。輪島市街を周った後は七尾教会へ向かい、復興のために派遣されている司祭やシスター、ボランティアに来

名古屋教区青年「のとボランティア巡礼」

6月29日、30日に名古屋教区青年委員会の青年数名で、能登半島地震で被災した三つの教会(羽咋、輪島、七尾)をめぐる、ボランティア巡礼を行った。

1日目は宿泊場所である羽咋教会に参加者が集合したのち、輪島教会へ向かった。輪島教会では片岡義博神父に輪島教会の状況について話を聞き、解体工事の為に外されたステンドグラスや、聖堂の周りを囲んでいたフェンスを金沢へ運



### 2024名古屋教区信徒使徒職大会

6月8日の13時から開催した2024信徒使徒職大会の今回のテーマは、愛知、岐阜、石川、福井、富山の信徒が一丸となった「がんばろうA G I F T名古屋教区」をメインテーマ、「つなげよう。能登半島地震に支援の輪を」をサブテーマとした。それは、1月1日に起きた石川県能登半島沖地震の被災状況とその対策について、当事者であるカリタスのとサポートセンターのセンター長、片岡義博神父に話してもらった。

大会は、まず被災され

た皆様のため、同時に炊き出し等で長い間尽力された。3月に帰天した故竹谷基神父、そして世界の紛争での犠牲者の方々に黙とうを捧げることから始めた。

当日は教区の活動団体および各小教区から計100余名の参加者があり、松浦悟郎司教の挨拶の言葉があり、次いで信徒使徒職協議会の平松富男会長からこの大会の趣旨を含め、昨年度の実績、本年度の方針の報告があった。

続いて、片岡神父から約1時間「能登半島地震をとおして、隣人として共に生きる」をテーマに、直接震災から現在までの苦労をリーダーとしての

貴重な話を聞くことができた。

次に、テゼのグループによる「テゼの祈り」を捧げ、その間に2回グループ内で個々より発言を受け、他のメンバーは静かに傾聴するという新しい形での「分かち合い」を行い、そのテーマは片岡神父の話を基にした「能登半島地震からの気づき(支援・共同体・共生)」についてだった。

続くグループ発表では、活発な発言があり、中でも時間の経過が「忘れること」につながるとの発言があった。能登半島地震から5ヶ月が過ぎ、懸命な復興作業が続いている今、必要なことは関心を持ち続けること

ではないかという内容だった。

さらにグループの垣根を超えて集まった活動8団体の自己紹介、岡崎教会のフィリピン人信徒グループによる天使のようなコーラスの発表、能登半島まで届けとばかりに全員で手話を交えた「アーメンハレルヤ」の大合唱、最後に松浦司教の発声でおこなった笑顔での写真撮影など感動の3時間半だった。

今年、名古屋教区信徒使徒職協議会は50周年を迎え、この半年間を大会成功に向けて「LET US BEGIN」と「聖霊への祈りのうちに」をにかけて、準備に多くの時間をかけてきた。参加者全員が満足できた内容だったと思っている。なお、当日の「能登半島復興支援献金」は全額55,000円を教区に収めた。

2024年名古屋教区司祭・助祭研修会が6月20日(金)から21日(土)に名古屋市昭和区の杖中にある南山学園研修センターにおいて行なわれ、松浦悟郎司教をはじめ、教区司祭・助祭、修道会司祭計37名が参加した。松浦司教の挨拶、昼の祈り、オリエンテーションに続き、「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」(外キ協)の事務局次長、佐藤信行氏を第1日目の講師に迎えた。自身の経験、東日本大震災時の災害弱者への支援を通して見えてきた在日外国人、特に

2024年名古屋教区司祭・助祭研修会

農村部に多い日本人と結婚したフィリピン人の女性カトリック信徒たちの情報交換や居場所となった教会の状況とその支援の経験で知った外国籍信徒たちとの関わりから、多文化共生の場としての教会のあり方などについて予定していた時間を超えて講演があった。

昼食を挟んで、午後は、カリタスのとサポートセンター長の片岡義博神父が「能登半島地震から考

えを現させる手伝いをしていくことができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

える教会のあり方」と題して、被災地の現状、復興支援の進捗、問題点を神父自身の体験を交えながら話された。

その後、各グループ6名、6グループに分かれて分かち合い、休憩を挟んでグループ毎の発表があった。続いて、夕食を兼ねた懇親会では、司祭同士、和気あいあいとした交流の場となった。

2日目は「朝の祈り」があり、前日の講演、分かち合いを受けての松浦司教からの問題提起があり、その後、各ブロック毎に分かれての分かち合いをした。司教からの問題提起とは、①具体的な一歩、自分の置かれている場で個人として、小教区、教区でできること、②聴く教会、分かち合う教会、③地域との関わりステッパー教会を地域で利用してもらう。ス

えていくために何をやるのか、大きな課題だ。次世代を担う堅信を受けた人たちは、昨年からの毎週勉強を重ね、主任司祭の厳しい試験に合格した。ミサ後のパーティーでは、「勉強は大変だったけど堅信を受けられて良かった。」油を塗ってもらい神様を近くに感じたい。など頼もしい感想を語っていた。

「堅信の儀」での「洗礼の約束の更新」で受堅者とともに参加者が信仰を宣言し、10年後の70周年、その先の100周年へ向けて、気持ちを新たにしたい記念の日だった。

(港教会 鶴見恵)



不安がある地域の方々にとって、いかに心のよりどころになつていくかをひしひしと感じた。七尾の後、カリタスのとサポートセンターのスタッフから活動状況について話を聞き、それぞれ帰路へ着いた。

2日間を通して、復興の状況や地域の皆さんの生活、そして、カリタスのとサポートセンターのスタッフをはじめとした災害支援を行う方々の働きを知ることができ、これからも同じ名古屋教区内である能登半島のために、青年として何ができるかを考え、実践していくと強く思った。

(青年委員会 梁良我)

一粒会の集い(北陸地区)

日時 8月25日(日) 14:00~16:30 (受付13:30)

講演 モルク・フランシスクス・アシジ神父 (岡崎教会主任司祭、神言会)

場所 カトリック福井教会 〒910-0004 福井市宝永3-2-3 電話 0776-25-4106

交通機関 JR北陸線「福井」駅下車 徒歩15分 駐車場10台(なるべく公共交通機関をご利用下さい。)

プログラム 14:00 開会 講演 15:20 ミサ 松浦悟郎司教司式 16:30 閉会 \*閉会后、茶話会があります。

問合せ 西村由美子 0561-54-9754 (留守電可)

2024年 平和旬間について

平和旬間テーマ 「いのちを守る・平和を築く ~こどもとともに考える平和~」

\*名古屋カテドラル(布池教会)での企画 8月11日(日) 13:30 第一部(大聖堂地下ホール) 動画を観て、大人とこどもに分かれて分かち合う 15:00 第二部(大聖堂) 平和祈願ミサ(松浦司教司式)

\*北陸ブロック(金沢教会) 8月12日(月・祝) 13:00 第一部 おはなしとコーラス 第二部 平和祈願ミサ(松浦司教司式)

6月9日(日)、港教会の献堂60周年記念ミサと子どもを含む7名の堅信式が、松浦悟郎司教を迎えて行われた。

堅信式の説教で、司教は自分の体験に沿って3つのお話をされた。①「父と子と聖霊の三位一体について」。私たちの信じている神は一人なのに、なぜ三人居るのか。小さい時、父親に聞いた時の答えを思い出す。両親が子供を愛するよう、神は子であるイエスを愛している。その愛が聖霊

によって、私たちへあふれ出て行く。神は愛によって完全に一つになっている。②「聖霊とは何か」。母鳥が餌をヒナ鳥に口移しで食べさせるように、イエスが人間になられて運んできた神の愛やお恵みを、聖霊が私たちに注ぎ込んでくれる。③「何のために堅信を受けるのか」。私たちは小さな力しか持っていないが、聖霊を注がれて神の恵みを受ける。全ての人が神の子として愛される。世界の現況が、神の願い。今日、聖霊の恵みを受け、君たちが、自分に与えられた場を精一杯生きていくことで、神の強い願

いを実現させる手伝いをするができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

えを現させる手伝いをしていくことができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

えを現させる手伝いをしていくことができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

港教会献堂60周年&堅信式

いを実現させる手伝いをしていくことができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

えを現させる手伝いをしていくことができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

えを現させる手伝いをしていくことができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

えを現させる手伝いをしていくことができる。1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

# 名古屋教区一般会計報告

## 2023年度収支決算書の要約

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	23,307,301
司牧協力分担金	68,655,198
信徒協献金	506,333
その他献金・寄付金	3,472,605
能登半島地震義援金	148,898,019
修道会教区宣教協力金	1,400,000
雑収入	320,655
繰入金収入	6,003,229
当期収入合計 (A)	252,563,340
前期繰越収支差額	596,818
収入合計 (B)	253,160,158
支出の部	
活動費管理費	28,669,103
人件費	6,839,155
儀典集会費	214,040
研修費	0
図書印刷費	91,138
中央協分担金他	1,690,000
寄付金	40,000
その他活動費	4,300,142
修繕費	4,884,000
賃借料	2,065,676
会議費	102,897
慶弔渉外費	200,000
旅費交通費	1,183,230
通信運搬費	557,270
備品・消耗品費	1,276,245
水道光熱費	1,146,038
保険料	217,180
その他管理費	3,862,092
司牧協力献金(修道会宛)	51,000,000
教区司祭生活費	17,675,200
委員会助成金支出	3,180,954
福信館助成金支出	1,066,310
広報部特別会計	1,866,040
能登支援特別会計	144,000,690
当期支出合計 (C)	247,458,297
当期収支差額 (A) - (C)	5,105,043
次期繰越収支差額 (B) - (C)	5,701,861

## 2024年度収支予算書の要約

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	23,544,802
司牧協力分担金	68,655,198
信徒協献金	500,000
その他献金・寄付金	1,120,000
能登半島地震義援金	30,000,000
修道会教区宣教協力金	1,400,000
雑収入	200
繰入金収入	6,471,000
当期収入合計 (A)	131,691,200
前期繰越収支差額	0
収入合計 (B)	131,691,200
支出の部	
活動費管理費	27,164,000
人件費	7,784,000
儀典集会費	300,000
研修費	500,000
図書印刷費	200,000
中央協分担金他	1,630,000
寄付金	200,000
その他活動費	3,800,000
修繕費	1,000,000
賃借料	2,500,000
会議費	150,000
慶弔渉外費	170,000
旅費交通費	1,500,000
通信運搬費	800,000
備品・消耗品費	500,000
水道光熱費	1,400,000
保険料	230,000
その他管理費	4,500,000
司牧協力献金(修道会宛)	51,200,000
教区司祭生活費	17,455,200
委員会助成金支出	4,005,000
福信館助成金支出	1,067,000
広報部特別会計	500,000
能登支援特別会計	30,000,000
予備費	300,000
当期支出合計 (C)	131,691,200
当期収支差額 (A) - (C)	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0

### 2023年度決算の概観

2023年度の収入源の主なものは、全小教区からのミサ献金、維持費献金の11%からなる本部維持献金と小教区担当の全司祭の生活費の原資となる司牧協力分担金、その他に修道会からの献金等があります。これらで、司祭、職員の件費、活動費、管理運営費などを賄いますが、不足分が出た場合は一般会計の積立金から補填を行います。

2023年度は新型コロナウイルス感染症上の位置づけが第5類となり、徐々に普段の生活を取り戻しつつ教会活動も活発になってまいりました。しかし、一般会計は約600万円の赤字となり積立金の取り崩しで補うこととなりました。

以下に2023年度の特徴を挙げます。

1. 小教区の皆様のご協力により、教区司祭と修道会への司祭生活費を賄うことができました。
2. 名古屋教区の宣教活動を反映する各委員会は、当初の計画通り活動出来なかった面もありましたが、予算案の執行は全体の約3/4でした。
3. 能登半島地震の被害にあわれた教会関連施設とその被災者支援のために、教区への募金を呼びかけ、教区内外及び海外から多くの義援金が寄せられました。

その他、一般会計以外の名古屋教区の収入源として、従来は事業収入等がありましたが、一部事業終了などにより今後は従前までの収入を見込むことができなくなりました。

### 繰越金の誤差について

名古屋教区の法人規則に従い、予算は毎年3月末の責任役員会で決定し、評議員会の同意を得ています。その時点では前年度の決算が確定しないため、次期繰越額は仮決算に基づいています。決算は5月末の責任役員会で決定され、評議員会の同意を得ています。この時点で前期繰越額が確定されます。2023年度の次期繰越額と、2024年度の前期繰越額の誤差はそのために生じております。

### 2024年度予算について

今年度は、特別な行事や大きな支出は予定されていませんが、1月1日に発生した能登半島地震で大きな被害が輪島を中心に能登半島全域に及び、いまだ復旧・復興されずに多くの人々が被災下での生活を強いられています。予算案には被災地復興を願う全国からの義援金を引き続き計上しています。多くの方々からのご支援に感謝をするとともに一日も早い復興と、平穏な日常が被災地に戻ることを願っています。

### 終わりに

各小教区の皆様のご協力とご支援に感謝申し上げますと共に、福音を告げる熱意は弱まることなく、キリストの心にかなった教区となっていくことができるように、皆さまと共に歩んでいければと思います。

名古屋教区司教 松浦悟郎  
名古屋教区会計担当 平田豊彦

## 2024年度名古屋教区小教区担当司牧者一覧

2024年6月現在

津島愛西 一宮 早川 努	瀨戸 春日井 北向 修一 スワイアテック ニコラス	多治見 ボウオムスキ スタニスワフ	高蔵寺 椎尾 匡文	瑞浪 ブルムアーノルド	八熊 平田 豊彦	熱田 山内 信行	日比野 志村 武	港 山野 聖嗣	鳴海 シユエ ルイ ジュン	緑ヶ丘 ヤマス ジュゼップ	半田 ジェンロー エウゲニウス	東海・長浦 ミレテニル バガサ フミナタ ロナウド アウグス オウチエラ	東山 伊藤 大有	平針 伴 八郎	名東 伊藤 大有	東山 伊藤 大有	南山 ファイラデルフィ パウオル デグズン ドンドン フェウイラ クロン ウィルフリート リンガマ	恵方町 ナジ エデルベルトウス	膳棚 寺尾 總一郎	三河センター ハンフリース クリストファー	布池 平澤 忠雄	岩崎 一二三	共同宣教司牧チーム 平田 政信 鄭 有品	押切 早川 和彦(助祭)	小牧 早川 和彦(助祭)	守山 ティボン レイナルド	城北橋 ハンフリース クリストファー フォンツ マルセリーノ	五反城 ハシンドリアス レインゲル	各務原 グラハム ジョン	岐阜 テラー フライアン	江田 根田 健二	江南 スサント プリヨ	大垣 ミッシン ジョイ	美濃加茂 狩浦 正義	三河ブロック 光山 相泰(助祭)	安城 ノック ボタス フジムント	岡崎 モルク フランシスクス アシジ	刈谷 ホー ショウ フェン	聖心 島袋 幹男	豊橋 ピリス プレ ジュエード	三河センター ベラルタ アンヘル ジュニア ベレス フェレテ アゴ デウイ アレホモ スザ ドミンゴス	北陸ブロック・福井地区 福井/大野 豊 フレアリック フリッツ ボンパン ソノボタン カロル ヨハネス	敦賀/小浜 クマル アファリアルン	協力司祭 テットホル ベルナルドウス	北陸ブロック・石川地区 (共同宣教司牧チーム) 金沢/内灘 九里 彰	三馬 窄口 松雄	七尾/羽咋 片岡 義博	小松 ボンタツキョ チェリアノ	輪島 ザンケッタ ピエトロ	富山 小川 満	高岡 オデイロン 金一	小矢部 片岡 義博	魚津	教区長 松浦 悟郎	名譽司教 野村 純一	司教総代理 平田 豊彦	教区会計 平田 豊彦	本部事務局長 平田 政信	法人事務局長 太田 実
--------------------	------------------------------------	----------------------	--------------	----------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------------	------------------	--------------------	--	-------------	------------	-------------	-------------	--	--------------------	--------------	--------------------------	-------------	--------	----------------------------	-----------------	-----------------	------------------	--------------------------------------	----------------------	-----------------	-----------------	-------------	----------------	----------------	---------------	---------------------	---------------------	-----------------------	------------------	-------------	--------------------	--	---	----------------------	-----------------------	---	-------------	----------------	--------------------	------------------	------------	----------------	--------------	----	--------------	---------------	----------------	---------------	-----------------	----------------

### 2023年度 各小教区諸献金・本部納付金一覧表

（単位：円）

教会・施設名	広報の日	聖ペトロ	難民移住移動	世界宣教	宣教地召命	世界子ども	聖地献金	四旬節	新教会建設	諸献金合計	本部維持費
熱田教会	19,710	21,543	25,901	19,520	20,050	182,320	31,739	122,000	55,000	497,783	442,505
恵方町教会	5,000	3,000	5,000	3,000	6,000	9,000	—	30,000	8,500	69,500	213,436
押切教会	1,900	3,076	2,314	3,500	1,800	13,500	5,000	8,300	2,000	41,390	168,897
五反城教会	10,120	14,609	20,250	16,995	27,095	17,377	17,273	70,280	15,200	209,199	725,739
城北橋教会	—	12,870	8,500	11,100	6,000	12,850	10,215	60,395	21,700	143,630	708,896
膳棚教会	20,200	15,904	11,610	9,510	10,890	15,508	15,700	52,859	49,743	201,924	324,636
鳴海教会	3,000	1,980	3,130	1,230	3,000	2,000	2,000	37,764	1,000	55,104	444,323
南山教会	10,743	10,015	23,808	19,702	24,373	65,268	29,723	108,556	19,229	311,417	1,998,692
布池教会	6,350	5,600	10,360	5,750	12,431	18,243	36,726	79,457	43,080	217,997	1,783,441
東山教会	20,337	17,524	20,437	24,658	25,087	26,565	40,277	84,860	—	259,745	581,998
日比野教会	21,174	11,000	11,776	12,620	12,500	17,500	7,968	—	11,116	105,654	304,744
緑ヶ丘教会	5,470	7,753	4,348	19,500	4,500	4,348	16,648	36,221	2,848	101,636	254,473
港教会	17,059	10,000	10,000	10,000	—	8,902	10,000	17,123	4,000	87,084	584,198
名東教会	1,000	1,000	1,000	—	1,000	1,000	1,000	7,000	—	13,000	106,491
守山教会	4,675	5,570	6,176	6,912	—	9,506	9,052	8,940	2,000	52,831	131,577
八熊教会	6,238	—	13,238	8,938	10,068	8,438	—	6,738	—	53,658	178,626
安城教会	4,610	—	7,000	6,234	5,000	19,822	6,120	22,640	14,500	85,926	644,056
一宮教会	28,578	33,354	37,166	33,970	37,629	32,750	16,963	92,672	25,000	338,082	1,008,276
津島愛西教会	3,990	2,022	4,300	3,300	4,350	4,210	6,555	20,510	4,750	53,987	174,797
岡崎教会	31,209	34,715	28,000	29,420	28,220	25,620	20,990	66,500	57,450	322,124	651,684
春日井教会	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	6,000	20,000	40,000	246,000	381,987
刈谷教会	4,600	5,000	6,200	31,819	7,000	15,000	8,800	75,205	—	153,624	646,014
高蔵寺教会	4,682	4,840	9,800	5,600	5,430	11,662	5,100	62,266	—	109,380	276,183
江南教会	4,000	6,100	11,001	5,100	6,500	13,300	9,000	21,500	24,710	101,211	288,705
小牧教会	16,400	11,476	17,594	13,204	15,000	9,084	17,139	55,780	16,643	172,320	492,286
聖心教会	25,920	21,534	21,617	18,126	25,210	26,992	45,348	77,927	34,906	297,580	614,629
瀬戸教会	34,929	35,014	39,959	36,458	36,636	52,789	7,910	107,446	46,600	397,741	550,242
東海教会	10,693	9,837	10,508	13,398	11,233	15,783	9,627	59,437	—	140,516	258,719
豊橋教会	40,000	53,000	50,000	40,000	52,000	30,000	32,000	70,000	15,000	382,000	691,132
長浦教会	4,000	5,000	6,000	6,000	4,000	4,000	5,000	20,000	5,000	59,000	115,042
半田教会	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	2,500	37,100	3,000	60,600	325,911
平針教会	17,238	17,038	15,000	15,000	15,000	14,338	6,000	22,330	—	121,944	612,202
大垣教会	1,822	7,200	7,900	8,800	8,500	7,500	39,900	24,700	6,500	112,822	450,759
岐阜教会	34,536	37,058	37,023	50,210	41,337	140,768	32,105	182,516	44,100	599,653	799,930
各務原教会	10,000	7,459	8,000	9,300	—	31,384	8,000	25,000	8,601	107,744	293,226
多治見教会	3,000	5,000	4,000	4,000	4,000	11,000	3,000	31,000	115,000	180,000	1,006,515
瑞浪教会	3,000	5,000	3,000	5,000	3,000	5,500	2,500	1,500	3,000	31,500	87,101
美濃加茂教会	6,000	14,322	25,000	17,875	15,856	28,683	15,500	31,154	16,650	171,040	420,922
金沢教会(内灘教会)	30,841	48,887	47,225	20,083	22,546	35,821	5,204	73,173	4,000	287,780	1,293,082
小松教会	5,987	—	—	—	—	—	—	—	—	5,987	92,560
七尾教会(羽咋教会)	2,106	3,925	2,725	2,445	2,815	3,120	7,300	7,000	7,000	38,436	87,189
三馬教会(松任教会)	7,000	5,000	6,000	—	9,512	10,000	14,200	19,280	5,000	75,992	172,826
輪島教会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	23,183
敦賀教会	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	9,000	4,000	41,000	205,250
小浜教会(巡)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	14,850
福井教会(大野教会)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	103,074	19,000	192,074	351,683
鯖江教会(巡)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	13,087	5,000	53,087	262,094
魚津教会	2,000	3,700	2,500	3,000	2,700	3,521	4,500	11,065	—	32,986	130,644
小矢部教会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	65,652
高岡教会	3,692	3,000	4,549	—	5,765	4,739	5,224	33,387	3,000	63,356	212,867
富山教会	34,728	15,291	32,751	20,549	23,277	27,848	6,340	36,773	—	197,557	652,431
その他	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	475,713	5,000	153,000	—	708,713	0
小計	595,537	603,216	689,666	638,826	624,310	1,525,272	606,146	2,316,515	763,826	8,363,314	23,307,301

※「その他」とは小教区以外の学校、幼稚園、修道会・宣教会からの献金です。  
 ※この表は2023年4月1日から2024年3月31日までに各小教区から教区本部に着金した金額を記載したものです。  
 ※四旬節献金など会計年度をまたがって教区本部に入金された場合には二年度分記載されることもあります。

### 一粒会特別会計 2023年度会計報告 (2023年4月1日～2024年3月31日)

《収入の部》		
項目	金額	備考
一粒会献金 (48教会)	10,496,328	
ミサ献金 (一粒会の集い)	58,550	城北橋教会、三馬教会
特別献金	786,787	
その他収入	18,704	
当期収入合計	11,360,369	(A)
前期繰越金	24,765,891	
収入合計	36,126,260	(B)

《支出の部》		
項目	金額	備考
神学院分担金	6,150,000	
養成費 (神学生・終身助祭)	5,707,336	
修道会寄付金 (8か所)	2,400,000	
活動費ほか	711,598	
当期支出合計	14,968,934	(C)
当期収支差額	-3,608,565	(A) - (C)
次期繰越金	21,157,326	(B) - (C)

○収入の部について  
 ・青封筒による「一粒会献金」がほとんどで、約1050万円でした。  
 ・「ミサ献金」は東海、北陸、両集い会場での献金。  
 ・「特別献金」は個人献金と、宣教地召命促進の日の献金。  
 ・「その他の収入」は一粒会以外で神学生のためにとの意向で教区に献金されたものです。

○支出の部について  
 ・「神学院分担金」は、教区神学生が在席していなくても支払いが必要です。カトリック神学院を共同運営する11教区が分に応じて負担する運営経費です。  
 ・「養成費」には神学生以外にも教区で養成を受けている終身助祭候補者の分も含まれます。  
 ・現在、神学生は在席1名で、年間約300万円が必要です。  
 ・「修道会寄付金」は、名古屋教区の教区運営に協力している修道会への司祭養成のための寄付金です。  
 ・一粒会の大きな支出は上記3項目で約1,425万円、収入の1,136万円を超えています。

・「活動費」は、一粒会の中心的な行事、企画などにかかる費用と、一粒会活動にかかる通信費、印刷費、消耗品費など。  
 ○当期収支は、約360万円の赤字となり、前期繰越金より補充となります。  
 一粒会の収入は、神学生がいない時期には繰越金として積み立てられますが、神学生が増えるほどに支出も増えますので、繰越金も減っていくこととなります。  
 ★現在、近藤真理生（まりお）神学生が在籍していますが、皆さんのお祈りと献金で神学生を育てていきましょう。  
 なお、2020年度より一粒会の会計は教区会計の「神学生育成援助金口」と統合され、新しく「一粒会特別会計口」となっています。 (一粒会委員長・西村由美子)

# 名古屋教区平和旬間「それぞれの祈り」

主として小教区での取り組みを紹介します。  
詳しくは、社会福音化推進部から各教会に送られている案内をご覧ください。

瀬戸教会 8月4日 10時15分～12時	・ドキュメンタリー映画の上映 軍隊を廃止し、国民の幸福度の最大化に努めたコスタリカの実態に迫った映画。
8月6日～15日 平日 15時 日曜日 8時30分 14・15日 9時30分	・この期間、平和を祈るロザリオ 平和の鶴を折り、聖母被昇天のミサで奉納。 2024年8月平和行進後平和記念公園内「原爆の子の像」に捧げる予定。
南山教会 7月5日～8月3日 各ミサ前 8月4日 13時～15時 8月6日 各ミサの中で	・平和を祈る「ロザリオの祈り」 ・「平和祈念の集い」小林武氏講話「憲法9条を手に沖縄で考える」他 ・アシジの聖フランシスコの平和を求める祈り
東山教会 7月7日～28日 8月15日	・「平和を祈願する霊的花束」を信徒から募集 ・聖母被昇天ミサで奉納
半田教会 8月6日～15日 8月15日	・個人、家族、グループでノヴェナの祈りをする。 ・聖母被昇天のミサの中で、世界平和のため、原爆・戦争によるすべての犠牲者のために祈る。
大垣教会 8月7日～15日 19時30分～20時30分	聖母に平和を願うミサ
東海教会 8月11日 9時30分～	説教後、社会委員の講話、PROTECT ALLLIFEを歌い、共同祈願平和を求める祈り
城北橋教会 8月11日～15日 10時30分～	ミサ後ロザリオの祈り 折り鶴を折って奉納
高蔵寺教会 8月6日～15日 8月4・15・18日 8月15日 9時30分～	ボードに平和メッセージと折り鶴を貼る。 映画「はだしのゲン」、TV「はだしのゲンと父」の鑑賞 聖母被昇天ミサで平和を祈願する。
平針教会 8月25日 10時30分～	永井隆博士記念館館長 永井徳次郎氏の講話
緑ヶ丘教会 8月4日 11時～15時	映画「ギダンさんと憲法誕生」上映とディスカッション 聖体礼拝
各務原教会 8月11日 11時～12時	シスターヨハンナの講話「平和のために今何をなすべきか」
春日井教会 8月11・14・15日 各ミサ	平和のためにロザリオを唱える
刈谷教会 8月11日 9時30分～11時20分	平和祈願ミサ ロザリオの祈り
聖心教会 8月11日 10時30分～11時10分	むぎわらぼうしの会による朗読劇「この子たちの夏」
一宮教会 8月11日 12時～12時30分 8月6日 8時～	大乘公園での慰霊祭 平和祈願ミサ ミサ後司教団の「平和旬間メッセージ」の朗読 ロザリオの祈り
五反城教会 8月4日 9時～10時	平和旬間 国際ミサ
鳴海教会 8月10日 11時～	世界の戦争・平和についての分かち合い
恵方町教会 8月11日 9時～11時45分	平和祈願ミサ ロザリオの祈り エスナックグループ(アジア・アフリカの貧困の子供たちの自立を助ける教育を行う団体) 川口さんの講話
北陸ブロック 8月12日 13時～	北陸満友会の麻井紅仁子さんの講演 平和コーラス「悪魔の飽食」を歌う合唱団 平和祈願ミサ
福井教会(大野教会・鯖江教会) 8月11日	平和祈願ミサ ミサ後ロザリオの祈り
敦賀教会 8月11日 9時30分～11時	ミサでの説教を朗読する 聖体賛美式
金沢教会 7月28日 11時15分～12時	アニメ「戦争のつくり方」を視聴して分かち合い

## サダナ(神への道)に参加して

私の信仰は、頭だけで神を理解している曖昧な、わかっているような、わかっているような、表面だけをさらっと流しているような、そのような感じだった。

もつと神を深い所で実感したい、何かをわかりたい、つかみたい、でもどうしたらいいのか、わからない。そのような気持ちはずっと感じていた。

瞑想とイマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

小グループで円陣になり、植栗神父(イエズス会)指導のもと、心静かに体の感覚を意識することから始まり、呼吸を活性化しての祈り、自分に届いてくる音を意識して受け止めて耳を開く、心を開くなど、イマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

小グループで円陣になり、植栗神父(イエズス会)指導のもと、心静かに体の感覚を意識することから始まり、呼吸を活性化しての祈り、自分に届いてくる音を意識して受け止めて耳を開く、心を開くなど、イマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

小グループで円陣になり、植栗神父(イエズス会)指導のもと、心静かに体の感覚を意識することから始まり、呼吸を活性化しての祈り、自分に届いてくる音を意識して受け止めて耳を開く、心を開くなど、イマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

シオンで神との交わりの世界を体験して、今まで感じたことのない心の静けさを実感した。

さらに、分かち合いの時間に、私が感じた心の体験を、言葉にすることによって、実感が自分にはつきり返ってきた。

神はずっと愛と慈しみを注がれて、そばにいてくださり、共に歩いてくださっていたとサダナで気づかせていただき、喜びが溢れた。

神が、私の心に、ずっと収まった。神と一緒に、前へと進んでいきたいと思う。

(聖心教会 夏目律子)

## 【東海地区・一粒会の集い】

東海地区一粒会の集いが6月30日、南山教会で開かれた。参加者は約100人であった。

第一部は、神言会のアルディ・ハヨン神父(五反城教会主任司祭)が「私の召命」のテーマで講演した。

出身地はインドネシアのフローレス島。インドネシアでは憲法に「全能

の神への信仰」が掲げられていて、聖職者は人々から尊敬されているそうだが、宗教としては、大多数がイスラム教、他にキリスト教、ヒンズー教や仏教が信じられている。フローレス島は、人口約200万人のほとんどが、カトリックだそうだが、スライドで見る画像には、南国の明るい美しい聖堂がいくつも紹介され、ミサ中の聖堂は信者で溢れ返り、子供達や若者も多くみんな笑顔で、これが教会なのだと思われ知られ

ハヨン神父は、一番大切なのは家庭における信仰教育だという。例えば幼少の時から家族皆が一つに集まって、当番制でお祈りをする。次には学校での信仰教育。インドネシアでは公立学校でも宗教を教えるので、神父やシスターを呼んで黙想のオーブンハウスなどを行い、これらが召命につながる大切な体験となる。そして教会。特に教会学校では、その日のミサ中の説教を文章にまとめ、その神父からサインをもらう制度。初聖体を受けるためには、子供は勿論のこと、その親も神父から試験を受ける必要がある。

また世界召命の日には、子供達は好きな修道会の修道服や修道女服を着てミサに与るイベントもあるそう。

ハヨン神父は、ここに書ききれない程の祈りと体験を経て、中学生の頃には神父になりたいと思いはじめ、高校生の頃には「神言会」の司祭になる道を決めた。

第二部は、松浦悟郎司教主司式のミサが捧げられた。説教で「家庭、教会共同体の中で子供の信仰を育てる努力をしていくか、親の信仰として日曜の福音と結びつけなが

切なのは家庭における信仰教育だという。例えば幼少の時から家族皆が一つに集まって、当番制でお祈りをする。次には学校での信仰教育。インドネシアでは公立学校でも宗教を教えるので、神父やシスターを呼んで黙想のオーブンハウスなどを行い、これらが召命につながる大切な体験となる。そして教会。特に教会学校では、その日のミサ中の説教を文章にまとめ、その神父からサインをもらう制度。初聖体を受けるためには、子供は勿論のこと、その親も神父から試験を受ける必要がある。

また世界召命の日には、子供達は好きな修道会の修道服や修道女服を着てミサに与るイベントもあるそう。

ハヨン神父は、ここに書ききれない程の祈りと体験を経て、中学生の頃には神父になりたいと思いはじめ、高校生の頃には「神言会」の司祭になる道を決めた。

第二部は、松浦悟郎司教主司式のミサが捧げられた。説教で「家庭、教会共同体の中で子供の信仰を育てる努力をしていくか、親の信仰として日曜の福音と結びつけなが

### 第39回名古屋教区障害者のつどい

誰も取り残さない、誰も排除しない教会・社会を目指して

日時 9月8日(日) 10:00開催(受付開始9:00)

場所 カトリック一宮教会 一宮市大宮1-7-1  
交通 名鉄、又はJR一宮駅下車 東口から600m 駅前から車椅子用リフトカー準備

プログラム

10:00 ミサ 司式 松浦悟郎司教  
11:30 昼食・交流(必要な方は弁当申込み可)  
13:00 講演 講師 藤野高明氏  
――手と光を失って教師となる――  
15:00 終了

申込み締切 8月19日

\*申込方法、その他詳細は、7月末に各教会に配布する会報81号をご覧ください。

共催 カトリック名古屋教区障害者連絡会  
カリタス福祉委員会、濃尾ブロック

問合せ カトリック名古屋教区障害者連絡会  
電話 052-852-1426(カリタス福祉委員会内)

### 2024年度 名古屋教区合同追悼ミサ

■カトリック名古屋教区霊園(名古屋市立八事霊園内)  
日時 9月23日(月・秋分の日振替休) 14時(雨天中止)

■第一カトリック墓地(東八事霊園内)  
日時 10月13日(日) 14時(雨天中止)

■第二カトリック墓地(東八事霊園内)  
日時 11月3日(日) 14時(雨天中止)

【雨天中止について】

・当日のNHKの朝の天気予報で、午後はっきりと雨天と予報された場合は中止。午前11時まで事務所で電話の対応あり。

・中止の場合、12時に現地に中止の看板を設置。

【お願い事項】

・駐車場に限りがあるため、出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。

・名古屋市霊園管理事務所の指導により、墓地への納骨の際は、申請・許可が必要です。八事霊園の方は事前に、教区本部事務局墓地係までお知らせください。東八事霊園の方は、管理会社(株)名古屋浄苑(電話 052-831-1370)までお問合せ下さい。

【問合せ】

カトリック霊園管理事務所 名古屋市東区葵二丁目6-35 カトリック名古屋教区本部事務局内  
電話 052-935-2223 FAX 052-935-2254

ら毎日の生活を送っているか、を考えることが大切」と語った。又、ハヨン神父の司祭叙階式の時にお母様が語られた「息子を神様からお預かりしたので、司祭として神様にお返し致します」という言葉が「召命」への道を表していると話した。

(南山教会 松田征雄)

8月の教会暦

- 1日(木) 聖アルフォンソ(リゴリ) 司教教会博士(記)
4日(日) 年間第18主日
6日(火) 主の変容(祝)
8日(木) 日本カトリック平和旬間
10日(土) 聖ラウレンチオ助祭殉教者
11日(日) 祝年 年間第19主日
14日(水) 聖マキシミリアノ・マリア・コルベ司祭殉教者(記)
15日(木) 聖母の被昇天(祭)
18日(日) 年間第20主日
20日(火) 聖ベルナルド修道院長教会博士(記)
21日(水) 聖ピオ十世教皇(記)
22日(木) 天の元后聖マリア(記)
24日(土) 聖バルトロマイ使徒(祝)
25日(日) 年間第21主日
27日(火) 聖モニカ(記)
28日(水) 聖アウグスチヌス司教教会博士(記)
29日(木) 洗礼者聖ヨハネの殉教(記)

9月の教会暦

- 1日(日) 年間第22主日
被造物を大切に作る世界祈願日
3日(火) 聖グレゴリオ一世教皇教会博士(記)
8日(日) 年間第23主日
10日(火) 日本205福者殉教者(記)
13日(金) 聖ヨハネ・クリゾストモ司

9月

- 3日(火) 正義と平和委定例会
7日(土) 宣司評運営委員会\*
8日(日) 教区障害者の集い\*
10日(火) 難民移住移動者委員会/樹の会
11日(水) カリタス福祉委員会
14日(土) 殉教者委定例会/典礼委員会/コアミーティング/信徒協役員会
17日(火) カトリック看護協会例会
19日(木) 顧問会/月集\*
21日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」難民移住移動者共に生きるための研修会
23日(月) 教区八事霊園合同追悼ミサ\*

8月

- 3日(土) 全国デスク 会議
6日(火) 原爆追悼ミサ
5日(木) 常任司教委員会 会議
6日(金) 司教総会
21日(土) 22日(日) 祝 全国青年ネットワークミーティング

8月

- 3日(土) 全国デスク 会議
6日(火) 原爆追悼ミサ
5日(木) 常任司教委員会 会議
6日(金) 司教総会
21日(土) 22日(日) 祝 全国青年ネットワークミーティング

8月

- 3日(土) 全国デスク 会議
6日(火) 原爆追悼ミサ
5日(木) 常任司教委員会 会議
6日(金) 司教総会
21日(土) 22日(日) 祝 全国青年ネットワークミーティング

告知板

8月の炊き出し
木1日東山、8日布池、15日南山・樹の会、22日城北橋、29日一宮
金2日喜望の会、9日南山、16日布池、23日長浦、30日布池
9月の炊き出し
木5日布池、12日ひまわり・南山・樹の会、19日聖霊・南山・樹の会、26日城北橋
金6日喜望の会、13日布池、20日恵方町、27日一宮

めぐみくん がんばれ!!
新説 砂上の足跡
めぐみくんの足跡
めぐみくん、それは父と子と聖霊もビックりするほどの大カン違いだよ
君の人生には、まだまだ自分の足跡がたりないぞ...
君が美しい時の足跡のまははうんだ

建設費の返済に協力を
668件 35,573,214円
目標額 40,000,000円 (6月末現在)
達成率 約88.9%
郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

カルメル修道会日比野修道院、黙想企画
【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
一キリストの十字架の恵みをより味わうために
日時 9月21日(土) 14:30~16:30
テーマ サムエル記の全体構造とメッセージ①
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)、参加費無料
どなたでもご自由にご参加ください。
担当 志村武神父(カルメル修道会)
問合せ 日比野修道院 (052-671-1003)
以降の予定 10月19日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)

【静修の集い】
日時 10月26日(土) 10:00~15:00
講話担当 九里彰神父(カルメル修道会)
テーマ 詩「むしられたバラ」より
一リジーの聖テレーズの愛の道一
スケジュール 講話①、ご聖体顕示、昼食、講話②、ミサ、茶話会
参加費 無料(自由献金をお願い致します)。どなたでもご自由にご参加ください。
持ち物 昼食(各自持参)
問合せ 日比野修道院 (052-671-1003)

カトリック名古屋教区 平和旬間 企画
「隣人のゆくえ あの夏の歌声」 映画上映会
日時 8月10日(土) 14:00~16:00 (13:30~受付)
場所 カトリック布池教会 大聖堂地下ホール
会費 500円 定員 120名
申込み方法
URL: https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdgabIRiAieCHJpOZ\_m2\_3hJ4n1Clc8Wt2by5I4I-QoLclFDw/viewform
\*中高生会の平和の集いに参加される方は申込み不要です
申込期限 8月9日(金)
企画・問合せ先 カトリック名古屋教区 青少年司牧部
担当司祭 伊藤大有 (TEL: 052-781-6514 東山教会)

♪♪第31回ウェルフェアコンサート開催♪♪
今年は、作曲家の三枝成彰さんプロデュースのもと、演歌歌手の神野美伽さん、ソプラノの小林沙羅さん、カウンターテナーの村松稔之さん、テノールの笛田博昭さん他の皆さんによる「美しき日本のうた 名古屋公演」をお贈りします。
日時 10月17日(木) 17:45開場、18:30開演
会場 愛知県芸術劇場コンサートホール 〒461-0825 名古屋市東区東桜一丁目13-2
主催 AJU 自立の家後援会
申込み・問合せ
・コンサート案内 2024\_31th.pdf
・ホームページ https://aju-cil.com/concert31th/
上記ホームページから、お申し込みができるほか、FAX での申し込みも可能です。FAX でお申し込みの場合は次の内容を記載の上、FAX 番号 (052)841-2221までお送り下さい。
①お申し込み日、②席種 (A:6,000円、B:5,000円、C:4,000円、車いす席:4,000円)、③枚数、④合計金額、⑤チケットお受け取り方法 (1. 来所時に現金と引換 希望日、2. チケット郵送及び専用振込用紙にて郵便振替)、⑥ご氏名及び団体名、⑦連絡先 TEL・FAX、⑧ご住所
それでは、楽しいひとときをお過ごしください。皆様のお越しをお待ちしております。
AJU 自立の家後援会事務局 (担当: 木下努)
〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15
TEL 052-841-5554、FAX 052-841-2221
また7月3日よりチケット販売がスタートします。チケットの発送は受付後順次行っていますが、1・2週間程度お時間を頂く場合があります。2週間経ってもチケットが届かない場合は、恐れ入りますがご連絡をお願いします。尚、座席の指定はお受けできませんのでご了承ください。

日本カトリック神学院の
ザビエル祭2024と一緒にしよう!
出発日 11月23日(土・祝) / 日帰り
行き先 日本カトリック神学院 (東京都練馬区関町東2-7-10)
主な行程 (東海地区) JR 名古屋駅より新幹線で東京へ、(北陸地区) JR 金沢駅・富山駅より新幹線で大宮(または東京)へ、JR、西武鉄道乗り継いで神学院へ行きます。ザビエル祭の企画を午後2時頃まで楽しみ、帰路・新幹線でそれぞれ名古屋・金沢・富山へ。
集合 (東海) JR 名古屋駅 朝6時、(北陸) JR 金沢駅 朝5時半・JR 富山駅 朝6時
\*詳細は出発の2週間前にお知らせします。
参加費用 6,000円 (往復交通費、昼食代)
募集対象 中学生以上の男女、および保護者
定員 東海地区・北陸地区・スタッフも含め全部で30名
申込先 (郵便) 461-0004 名古屋市東区葵2-6-35
カトリック名古屋教区本部事務局内
一粒会・平田豊彦神父
(FAX) 052-935-2254 カトリック名古屋教区本部事務局内 一粒会・平田豊彦神父
※申込受付後、参加費用の振込先を連絡します。
※申込み切 8月31日(土) 必着
問合せ 山内雪(090-8420-2318)、菅野成之(090-6691-8025)、西村由美子(090-1279-9932)
主催 名古屋教区一粒会・青少年司牧部・中高生会

名古屋教区事務所から
夏季休暇のお知らせ
8月14日(水)~16日(金)、夏季休暇でお休みします。
正義と平和委員会
学習会のお知らせ
日時 9月3日(火) 10:30~12:00
場所 福信館2階
テーマ 「能登半島地震からの警告 ~止まっていたよかった志賀原発、造らせなくてよかった珠洲原発」
講演者 大沼淳一さん (原子力市民委員会福島部会員、市民放射能測定センター運営委員)